

■ 2月を振り返って
今年の最初に大きな目標を3つたてました。しかし、小さな目標は100個ほどたてました。

その中の1つに、「夜中に仕事をしない。」という目標をかかげました。

昨年は、仕事のペースがつかめず毎日夜遅くまで仕事をしてました。またFPとしての勉強、保険商品の研究など没頭すると時間がたつのを忘れてしまいました。いつも新聞が来てから寝たって感じです。

もちろん、朝は起きませんでした。お客さまには「朝は弱いのでご連絡は午後からお願いします。但し、遅い時間は何時でもけっこうです。」という感じです。

そういった生活のリズム乱れから、食生活も不安定になってしまいました。
→だから太ってしまった(ToT)。

今年は朝起きて、夜寝るようにしました。おかげで生活リズムが「普通」に戻りました。

2月20日現在 -1kg
(誤差ともいう)

■ 最大のリスクは普通にいきること？<1月号の続き>
お金のない老後を過ごすってどんな感じがしますか？

しっかりと年金は納めてるし、個人年金もそこそこ加入しているから大丈夫！とおっしゃるかたもいると思います。

公的な年金(老齢厚生年金、老齢基礎年金等)は、終身保障なので生きている間はずっともらえます(但し今の年金制度がこのままずっと続くと仮定して)。

しかし民間の個人年金には注意点が必要です。個人年金(定額型)には次の3種類があります。

- ・ 確定年金…もらえる年数と金額が加入時に決まっている。もらっている間に死亡しても被保険者の遺族がもらえる。もらえる年数に注意

- ・ 有期年金…もらえる年数と金額が加入時に決まっている。もらっている間に死亡するとおしまい。(保障期間付というものある。)

- ・ 終身年金…将来の年金額が決まっています。生きている間はずっともらえる。

皆様の個人年金はどれでしょうか？
当社は、お客さまが年金で月33万円以上もらえることを支援してます。
<3月号に続く>

2005年2月号
第2号

浜松ファイナンシャル
プランナーズ事務所

ありがとう通

今月のピックアップ

・ ありがとうございます2

・ 清水章吾さんがきました

・ 資産運用基礎の基礎2

・ 目標100個

・ 一番のリスクは長生き？

多くのご好意
のメールあり
がとうござい
ました

■ ありがとうございます！

先月、創刊号を発行したばかりにも関わらず6名の方から、大変ありがたいメールをいただきました。本当に、ありがとうございます。

一部抜粋してご紹介します。

「ありがとう通信が届いたことでこれからもしっかりフォローしていただけるという安心ができました。」

当社では、さらにお客さまにファイナンシャルプランナーとしてのサービスを強化すべく、住宅ローン相談部門を強化しております。

住宅ローンの返済額を減らす方法として、繰上げ返済は有名ですね？しかし、当社では繰上げ返済をしなくてもローンの返済額(月々の支払の減額や返済期間の短縮)が減るアドバイスができるようただいま勉強中です。

■ 清水章吾さんが来社しました！

誰？と思われた方も多いと思います。恐らく名前より、顔の方が有名な方だと思います。名前は知らなくとも、顔は知らない人は少ないと思います。

チワワと一緒に「金融系の企業」のCMマーシャルや、テレビ番組の「笑いの金メダル」にレギュラー出演している俳優さんです。1月末に当社に取材のためにきました。お題は「地域に密着して多くの方のお役に立てる企業」だそうです。

芸能人と直接会話をすることはもちろんはじめてです。最初は、緊張しましたし威圧感もありました。でも、はなしはじめたらソフトな口調で緊張もほぐれました。親しみやすい方だなと感じました。

約2時間の滞在でしたが楽しい思い出になりました。

<清水章吾さん(右側)と記念撮影をしました。当社の事務所に。左側は少しふくよかになった山中。>



著作・発行 浜松ファイナンシャルプランナーズ事務所

〒435-0006 静岡県浜松市下石田町1834-2-303

電話 053-421-4678 (FAX兼用) 携帯 090-5616-1263 (確実にです)

メール yamachan0511@ybb.ne.jp

ホームページ : <http://www2.tranzas.ne.jp/~yamachan0511/>

グーグルで「浜松 ファイナンシャルプランナー」と入力して一番最初にでてくるところ。

<スタッフのひとりごと>

山中崇寛 : 保険見直し専門のファイナンシャルプランナー

サッカーのお話です。この間のW杯最終予選、日本代表vs北朝鮮代表の試合を、始まってしばらくした頃にテレビをつけたら1-0で日本がリード。後半途中で追いつかれたところはしっかりみました。日本はおされっぱなしでしたね。そして9時に、自分のサッカーの試合があるためテレビ観戦終了。帰って結果を見たら、2-1で日本が勝ってましたが、どちらも得点シーンを見れませんでした。サッカーは始まって10分と後半40分以降にゴールが多いといわれます。次回からはしっかり最初から最後までしっかりみたいと思います。私はサッカープレイヤーでもありキーパーをしてるのですが、序盤の失点が非常に多いので改善していきたいと思っています。

資産運用基礎の基礎

■資産運用の目的

「資産運用」というと、「お金をふやす」というイメージがどうしても先行しがちです。でも、私がファイナンシャルプランナーとしてつかう「資産運用」とは、「お金をふやす」ことではありません。

もっとカンタンにいいますと当社のファイナンシャルプランナーは、「お金をふやす人」ではありません。

ところで、「お金」はなんのためにあるのでしょうか？

・ふやすため ・使うため

私は、「お金は使うためにある」ということを前提にしてアドバイスをここがけてます。

だから、将来「使いたいお金」の範囲をめいかにして目標リターン（利回り）を設定します。予想いじょうのインフレやデフレがおきても将来使いたいお金のさいていラインは確保しておきます。

そして目標リターンに決してとどかない運用や必要以上にリスクをとる運用は避けます。

■使いたいお金とは？

くるまを買いたい、いえを買いたい、生活費はいくらつかいたい、旅行にたくさんいきたい、海外に移住したい・・・お金のつかいかたやその金額はひとそれぞれです。

1ヶ月たとえば30万円の生活費でこれから40年間生活するのであれば、30万円×12ヶ月×40年間＝1億4400万円 必要となります。

他にもくるまや電化製品やいえのリフォームなどで2000万円必要だとすると全部で、1億6400万円くらい必要となります。

■用意できるお金を計算する

次に今後の収入の予想をしてみましょう。

（今の年収 + 退職直前の予測される年収）÷ 2 × 退職までの年数 + 予測される退職金 + 年金収入（年金の計算方法はまた別の機会でおはなししたいとおもいます。）

■どっちが理想？

収入に応じた生活レベルにするか、理想の生活レベルに応じた収入を得るか？どちらがいいと思いますか？

その前にムダな出費を減らすことはいうまでもありません。ムダな出費とは、目に見えない出費…つまり

- ・生命保険のムダ
- ・住宅ローンのムダ

をなくすことを大前提とします

これでムリなく貯蓄がカンタンにできますし、万が一のときもお金がないということをふせぐことができます。

■いざ資産運用！その前に

でも、運用してお金が減ってしまったらいやですよ。私もお客さまがソンをしてしまうことは絶対にさせてもらってません。

元本確保型について、どう思いますか？

100万円運用したら、2年後に確実に106万円いじょう戻ってくる金融商品（3%単利）があるとしたら魅力に感じますか？

今の金利情勢でしたら非常に魅力的ですね。でも、資産運用で元本確保はそれほど大切ではありません。むしろ、ファイナンシャルプランナー的には不安です。

インフレ・・・物価があがること、逆ない方をすればお金の価値がさがること。
＜3月号へ続く＞

運用方法の1つとして

ここで紹介している金融商品・保険商品は、元本割れリスク、途中換金不可リスクが伴います。ここでは概要を述べてあるだけです。興味がある、もう少し詳しいことをお知りになりたい場合は、必ず当社にお問い合わせ下さい（電話 053-421-4678 担当：山中）。資料送付致します。また、取扱い会社につきまして、法令遵守の都合によりふせさせていただきます。ご了承下さい。

ある程度の貯蓄（解約返戻金）
があり8歳未満のお子様の
教育費に最適！

ジャンル	保険商品
会社	〇〇生命
商品種類	ドル建個人年金
タイプ	一時金
金額	100万円以上
期間	5、7、10年 定期
特徴	将来もらえるお金はドル建で確定運用期間が長いと利回りは高い為替手数料等のコストがかかるが、年3%以上の複利で増えるので10年間で30%程度増える。
リスク	途中解約した場合の解約手数料が高い。極端な円高の場合は、払込んだ保険料を下回る可能性可能性がある。

ジャンル	保険商品
会社	△△生命
商品種類	ドル建個人年金
タイプ	一時金
金額	1万ドル（約105万円以上）
期間	6、10年 定期
特徴	将来もらえるお金はドル建で確定運用期間が長いと利回りは高い為替手数料等のコストがかからない年2%以上の複利で増えるので10年間で20%程度増える。
リスク	途中解約した場合の解約手数料がかかるが隣より低い。払込んだ保険料を下回る可能性可能性がある。

運用例

お子様が7才

↓
100万円を預ける

↓
10年後に満期になる

↓
約12,561ドルもらえる
（〇〇生命の場合）

10年後の為替が
1ドル＝80円の場合 約100万円

1ドル＝95円の場合 約120万円

1ドル＝105円の場合 約132万円
（今と同じ水準）

1ドル＝125円の場合 約157万円

●子どものための貯蓄を考えるポイント～その2～

前号では、おおまかな方針を決めることをお話させていただきました。次に、その方針のためには「どれくらいのお金が必要か？」を考えます。子どもの教育費には、次の2種類があります。

- ・学校教育費…幼稚園・保育園・小中学校・高校・大学（院）・専門学校等
- ・家庭教育費…水泳・サッカー・ピアノなどの習い事 家庭教師・塾など
自宅から通えない場合の仕送り等

そして、これらの教育費を「家計（毎月の収入）からだせるお金」と「あらかじめ用意しておくお金」と2種類の方法で用意します。＜3月号へ続く＞

（相談お待ちしております。電話：053-421-4678 不在時090-5616-1263）
※無料電話相談（15分間・要予約）をご利用下さい。